

「心に残る文化財子ども塾」～隠岐の島町立 磯小学校～

1.活動の概要

7月3日(金)、隠岐の島町立磯小学校の4・6年生を対象に「心に残る文化財子ども塾」を行いました。テーマは「地域の歴史を学ぼう&埴輪(はにわ)づくりに挑戦！」です。

最初は隠岐の島町教育委員会職員から、ふるさと・隠岐の島町の歴史について教わりました。隠岐の島町には多くの遺跡・遺物が存在し、伝えられています。児童たちは真剣な目で話を聞き、その貴重な歴史を自らの手で体感しました。次の古代体験では、まずは埴輪について解説しました。古墳の周りに並び置かれた埴輪には多くの種類がありました。その技巧やユニークさに児童たちは関心を示してくれたようで、埴輪クイズも大いに盛り上がりました。

古代の衣装、貫頭衣に身を包んだら、お待ちかねの埴輪づくりスタートです。夢中で作っているとあっという間に時間が過ぎていき、児童たちの独創的なアイデアで、素敵な埴輪がたくさん誕生しました。ぜひ大切にしてくださいね。

2.活動の様子



ビックリ！磯小にも遺跡があったんだって



本物の土器や勾玉を触ってみよう！



貫頭衣を着て、気分は埴輪職人♪



素敵な埴輪ができました！

3.子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・磯小学校をつくるときに古ふんがあったことが心に残りました。
- ・(心に残ったことは)はにわづくりです。どうしてかという、楽しかったし、古代人になったみたいでもしろかったです。
- ・遺跡を実際に見てみたい。
- ・日本でどのくらいのおもしろいところがあるかもっと知りたいです。
- ・(もっと知りたいことは)ほるまでおもしろいところがあるかわからないのにおもしろいところなどは(なぜ)分かるのか

→(埋蔵文化財調査センター職員より回答)「ここにお城があった」と、紙の文章や言い伝えがあったり、お城の跡が地面のかたちとして残っていたりすると、その場所を掘ったときに確かめることができます。しかし多くの場合は、掘るまで遺跡があるかわからないので、道路や建物を作る工事のときに、地下から土器などがでてきて、遺跡が見つかるのです。だから、あなたのおなじみの場所の地下にも、じつは遺跡が眠っているかもしれませんよ。ただし、遺跡や土器などは町みんなの宝物なので、勝手に掘ったり、土器などを持って帰ったりするのは禁止されています。もし埴輪や勾玉を見つけたら、教えてくださいね。

2)担任の先生から

- ・(よかったことは)隠岐にある、本物の土器や出土品を見たりさわったりすることができたこと
- ・身近な遺跡や古墳について知ることができた
- ・クイズを挟むことで、思考する時間があつた
- ・実際に教科書で学んだはにわを作る体験ができて、とても有意義で良い体験になったと思います。子どもたちも楽しそうに取り組んでいました。
- ・話を聞くだけでなく、実際にはにわ作りを体験できたことがよかった。粘土の硬さや量もちょうどよかった。
- ・豊富な知識と子どもたちをひきつけるクイズで、子どもたちが終始楽しそうに活動していてよかったです。
- ・「古代人の衣装を着る」「はにわを作る」など体験が多くあったため、特別支援の児童でも楽しんで参加することができた。

3)埋文センターから

みなさんが真剣に、楽しそうに聞いてくれるので、解説にも熱が入りました。ぜひ、今日の思い出を大切に、ふるさとの歴史を守り受け継いでください。また、楽しいだけじゃない、大変だった昔の暮らしの体験を通して、現代の暮らしのありがたさを感じてほしいです。そして、過去の歴史を未来に活かしてくれると嬉しいです。